

2018年9月吉日

株式会社やずや

報道関係各位（企業情報）

芸術の秋、読書の秋、運動の秋、、、

やずやでは読書をしながら本をバトンにして、

全社員でリレーをしています。

～本のバトンリレー3年目の挑戦～



「日本一、本を読む会社になりたい！」

突然の社長の宣言に目を丸くした社員たち。

そこには、社長の深い想いがあったのです。

もともと本好きである社長の矢頭 徹が、数年前「引き出しの多い人間になるためには一つは勉強すること。素直になって本を読んだり、教えをもらったりするしかない。今の自分で満足していたら何の成長もない。そしてもう一つは体験を増やすこと。学んだ知識を活かすために、自分で見たり経験したり触ったりすることが大切。日本一本を読む通販会社となり、日本一いろいろなことを体験する組織集団になろう」

こう宣言したことから、私たちの「本と隣り合わせの毎日」が始まりました。

## シーズンⅠ ～習慣化する壁～

シーズンⅠでは、読んだ本の「ここがオススメ」を社員が日替わりで全社員に配信するバトンリレーを実施しました。

しかし「本を読もう！」と様々な場面で呼びかけても、全員にはなかなか定着しない。ということが、ここでの大きな壁となったのです。ただ、少しずつではありましたが定着の兆しが見えたのも事実でした。

そこで、就業時間内である AM8：30～AM8：45 の 15 分間を「読書の時間」とし、読書の習慣化につなげたことで徐々に本を読む癖がついてきたのです。

次はインプットしたものをアウトプットする作業。

自分が読んだ本の見所や感じたこと、学んだことを全社員に配信するというアウトプットをすることで、より一層、本の内容を落とし込むことができたのです。

ここで予期しない良いことも起きました。それは、アウトプットすることで社員の人となりや考え方を知ることができ、社内の交友関係が広がり、コミュニケーションが深まったのです。

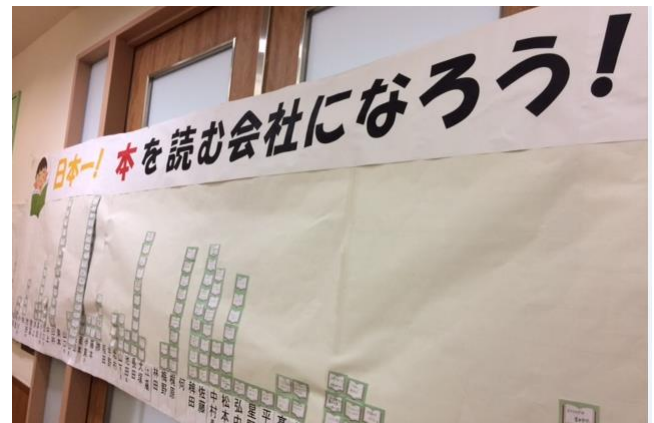
また、社員間での本の貸し借りも行われ、相乗効果も発生しました！

## シーズンⅡ ～読破数の見える化でモチベーションアップへ～

シーズンⅡでは「やずやの読書王は誰だ！選手権」を実施し、年間 MVP 表彰を行いました。

皆が見ているということはモチベーションアップに直結するのか、もともと殆ど読書の習慣がなかった社員が、毎日 15 分の積み重ねで、年間数十冊を読むまでに成長したのです！

年間 MVP 表彰を行ったことで、「読書と言ったら〇〇さん」といった代名詞も出来上がりました。



## シーズンⅢ ～やずや図書館オープン～

そして遂に、3年目を迎えるシーズンⅢでは、自由に本が読める・貸し借りできる空間、「やずや図書館」をオープンすることになったのです！ここにある本はすべて矢頭はじめ、社員が「みんなに是非読んでもらいたい！」と、寄贈で集まったものばかり。

今はまだ小さな本棚ですが、これから少しずつ本が増え、部屋一面に本棚がある空間を目指しています！

現在は朝礼を使って本の紹介スピーチも行なっています。

紹介スピーチは聞いている側の



社員にとっても次の本選びのヒントに。

朝礼で感動を分かち合うことで、その日一日はみんながハッピーになっています。

## 終わらない挑戦へ

来年迎えるシーズンIVでは、、、と言いたいところですが、ここはまだ未定。

毎年進化を遂げる本のバトンリレーを続けることで、少しずつ、少しずつ、そして確実に社長の深い想いに近づいています。

さて、シーズンIVでは一体どんなチャレンジが待っているのでしょうか。

「今まで読んだ本を駆使して、小説を書いてみよう！」なんて、ちょっと恐ろしいようなでも、やずやならやっと思いそうなお題が待っているようで、少しのワクワクとドキドキでその日を待ちます。

「やずやは日本一本を読む通販会社」こう言っただけの日も、そう遠くはないのかもしれない。

### 【取材等のお問合せ先】

やずや広報担当／<sup>たけむら</sup>竹村 TEL 092-526-0828 (代表) <https://www.yazuya.com/>

株式会社やずや／〒815-8686 福岡市南区那の川 1-6-14